

## Max Signal<sup>®</sup> マイコトキシシ ELISA テスト

Max Signal マイコトキシシ ELISA テストシリーズは、食品や飼料などにおけるマイコトキシシ汚染をスクリーニング検出あるいは定量する ELISA キットです。マイコトキシシシリーズは、簡単な抽出精製後、約 60 分前後の ELISA 操作で高感度のスクリーニング試験や簡易定量が可能です。

製造 : PerkinElmer Rev.2022.09

商品名	Max Signal マイコトキシシ ELISA テストシリーズ 96well 各 78,000 円 (税別)			
価格	トータルアフラトキシシ	3245BS1030	T-2 トキシシ	3245BS1037
	トータルアフラトキシシ	3245BS103B	ゼアラレノン	3245BS1035
	アフラトキシシ B1	3245BS1055	オクラトキシシ A	3245BS1036
	デオキシニパレノール(DON)	3245BS1064		

アフラトキシシ M1 はトータルアフラトキシシキットでも検出されますが、別途専用のキットがあります。

保管条件 冷蔵 2~8℃ 長期未使用の場合は一部冷凍

製品内容  
マイクロプレート 96 ウェル (8×12 ストリップ)  
標準液 (ゼロ標準+5 濃度)、添加試験スパイク溶液  
酵素複合体 (抗体/抗原)、希釈液、発色基質  
反応停止液、洗浄濃縮液、抽出バッファーなど  
(キットにより内容が異なります)



目的・用途 競合 ELISA 法による食品/飼料中のマイコトキシシのスクリーニング検出・定量

原理・性能 ELISA (競合) 法 (検出感度、測定範囲および交差反応は別表をご覧ください)

他に必要な試薬器材  
マイクロピペット&チップ、ボルテックス、遠心分離機  
マイクロプレートリーダー450nm、洗浄ビンあるいはウォッシャー  
抽出用器材 1 式、蒸留水、メタノール (詳細は別途ご確認ください)

### トータルアフラトキシシ キット(3245BS1030)の操作方法 (Ver.1030-07 rev.C)

- ①適宜ウェルに標準、試料を 50  $\mu$ L 滴下  
酵素複合体を 100  $\mu$ L 滴下、混合してインキュベート 30 分  $\Rightarrow$  ウェル洗浄
- ②発色基質を 100  $\mu$ L 滴下、混合してインキュベート 15 分
- ③反応停止液を 100  $\mu$ L 滴下、吸光度 450nm を測定し、濃度計算する

### トータルアフラトキシシ キット(3245BS103B)の操作方法 (Ver.1030-08 rev.C)

- ①調製用プレートの適宜ウェルに標準、試料を 150  $\mu$ L 滴下
- ②調製用プレートの全ウェルに酵素複合体を 75  $\mu$ L 滴下、10 回混合
- ③各ウェル 150  $\mu$ L を反応用プレートに移送 インキュベート 10 分  $\Rightarrow$  ウェル洗浄
- ④発色基質を 100  $\mu$ L 滴下、1 分間混合してインキュベート 5 分
- ⑤反応停止液を 100  $\mu$ L 滴下、吸光度 450nm を測定し、濃度計算する

### アフラトキシシ B1 キット(3245BS1055)の操作方法 (Ver.1055-04)

- ①適宜ウェルに標準、試料を 50  $\mu$ L 滴下  
酵素複合体を 100  $\mu$ L 滴下、混合してインキュベート 30 分  $\Rightarrow$  ウェル洗浄
- ②発色基質を 100  $\mu$ L 滴下、混合してインキュベート 15 分
- ③反応停止液を 100  $\mu$ L 滴下、吸光度 450nm を測定し、濃度計算する

### デオキシニバレノール キットの操作方法 (Ver.1064-03A)

- ①適宜ウェルに標準、試料を 100  $\mu$ L 滴下  
酵素複合体を 50  $\mu$ L 滴下、1 分間混合してインキュベート 10 分  $\Rightarrow$  ウェル洗浄
- ②発色基質を 100  $\mu$ L 滴下、1 分間混合してインキュベート 5 分
- ③反応停止液を 100  $\mu$ L 滴下、吸光度 450nm を測定し、濃度計算する

### ゼアラレノン キット(Ver1035-03B)、T-2 トキシン(Ver.1037-03C)、オクラトキシン A キット(Ver.1036-04B)

- ①適宜ウェルに標準、試料を 50  $\mu$ L 滴下  
酵素複合体※1 を 100  $\mu$ L 滴下、1 分間混合してインキュベート 10 分 $\Rightarrow$ ウェル洗浄
- ②発色基質を 100  $\mu$ L 滴下、1 分間混合してインキュベート 5 分
- ③反応停止液を 100  $\mu$ L 滴下、吸光度 450nm を測定し、濃度計算する

※1 : オクラトキシン=50  $\mu$ L

**試料の前処理方法** キットおよび試料により異なります。別途お問合せください

#### 各キットの性能

##### トータルアフラトキシン キット (3245BS1030) (Ver.1030-07 revC)

標準液濃度 ゼロ, 0.02, 0.06, 0.2, 0.6, 1.5 ppb  
 検出限界 穀類/種実/肉/ピーナツバター/飼料 0.4ppb 食用油 0.8ppb ミルク 0.04ppb  
 交差反応(%) Aflatoxin B<sub>1</sub>= 100%, B<sub>2</sub>= 23%, G<sub>1</sub>= 36%, G<sub>2</sub>= 22%, M<sub>1</sub>= >100%

##### トータルアフラトキシン キット (3245BS103B) (Ver.1030-08 revC)

標準液濃度 ゼロ, 0.05, 0.25, 0.75, 2.5, 10 ppb  
 検出限界 穀類/種実//飼料 2.0ppb 肉/ピーナツバター 1.0ppb ミルク 0.1ppb  
 交差反応(%) Aflatoxin B<sub>1</sub>= 100%, B<sub>2</sub>= 44%, G<sub>1</sub>= 92%, G<sub>2</sub>= 48%, M<sub>1</sub>= >100%

##### アフラトキシン B1 キット (3245BS1055) (Ver.1055-04)

標準液濃度 ゼロ, 0.02, 0.06, 0.2, 0.6, 1.5 ppb  
 検出限界 穀類/種実/肉/飼料/ピーナツバター 0.4/0.8ppb ミルク 0.04ppb  
 交差反応(%) Aflatoxin B<sub>1</sub>= 100%, B<sub>2</sub>= 26%, G<sub>1</sub>= 46%, G<sub>2</sub>= 28%, M<sub>1</sub>= 70%

##### デオキシニバレノール(DON) (Ver.1064-03A)

標準液濃度 ゼロ, 7.5, 15, 30, 60, 120 ppb  
 検出限界 抽出①法 飼料224ppb 干魚211ppb 抽出②法 飼料49ppb 干魚66ppb 種実214ppb  
 交差反応(%) DON= 100%, 15-Ac-DON=40%

##### T-2 トキシン (Ver.1037-03C)

標準液濃度 ゼロ, 1, 5, 10, 25, 50 ppb  
 検出限界 穀類/種実/飼/ミルク 10ppb  
 交差反応(%) T-2 トキシン= 100%, HT-2= 5%, Acetyl T-2= 15%, Iso T-2= 3%

##### ゼアラレノン (Ver1035-03B)

標準液濃度 ゼロ, 0.25, 0.5, 1.0, 2.0, 4.0 ppb  
 検出限界 穀類/飼料/種実 5ppb ミルク 5ppb  
 交差反応(%) Zearalenone= 100%,  $\alpha$ -Zearalenol,  $\beta$ -Zearalenol,  $\beta$ -Zearalanol= >100%,

##### オクラトキシン A (Ver.1036-04B)

標準液濃度 ゼロ, 0.2, 0.4, 0.6, 0.8, 1.0 ppb  
 検出限界 飼料/種実/干魚/オーツ麦 2ppb  
 交差反応(%) Ochratoxin A= 100%, B= 9%  
 濃度換算スプレッドシートはプラクティカルまでお問い合わせください。

吸光度測定には、フルオート型

### ChroMate プレートリーダー

定価 420,000 円 (消費税別) がお勧めです。



**CHROMATE**